

# 長野駅前B-1地区のまちづくり

## 1 長野駅前B-1地区の課題と経緯

当地区は長野駅前に位置し、善光寺まで続く中心市街地の軸線：中央通り入口に面しています。しかし老朽・低層建物が密集しており災害時の安全面に不安が大きく、一方で零細権利者が多く単独の建替えが困難なため、共同での建替えが望まれていました。

権利者の皆様個人で抱えていた課題解決のために、市街地再開発事業の検討を行い、この度2024年2月に当地区のまちづくりに関し都市計画決定がなされました。

長野市より  
重点プロジェクトに  
位置付けられました！  
(2022年2月)

- 検討会設立 2020年2月頃
- 勉強会開催 2020年7月・10月
- 準備組合設立 2021年6月
- 都市計画決定 2024年2月

### 地区の課題① 空テナントの増加



### 地区の課題② 建物の老朽化・狭隘道路

火災等の発生時、緊急車両の進入が困難になっています。



### 地区の課題③ 回遊性の低下

観光客が駅周辺エリアへ入らずに郊外の観光地等へ直接移動してしまい、市街地での回遊性が乏しい状況があります。



## 2 施設のコンセプト

象徴と調和

- 駅前のシンボルに相応しい上質さと重厚さを兼ね備えた洗練されたデザイン
- 商業部分はガラスを多く採用し、視認性、明るさ、軽快さを感じるデザイン
- 基壇部は木彫を多く採用し、長野駅を含む周辺環境との調和と親しみやすさ、温かみのあるデザイン
- 街なかに効果的な緑化を配置した、ゆたかな空間デザイン

## 3 商業コンセプト

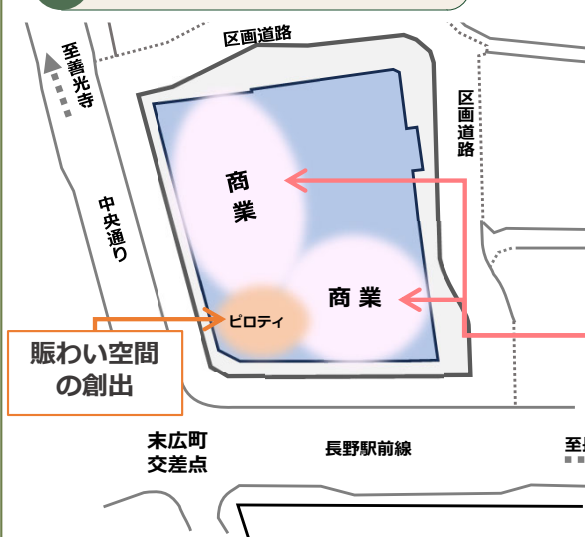
周辺住民にとっても、来訪者・観光客にとっても、「ここからはじまり、ここに戻って来られる」街づくりを目指します。



※当資料の内容は現段階の検討状況に基づくものであり、今後変更となる可能性があります。

計画地周辺の住民や働く人、訪れる観光客や来訪客のための、「はじまりの場(出発地)」「戻ってくる場(ゴール)」となる仕組みを商業機能として兼ね備え、計画地が中心となり駅前の活気や魅力を善光寺まで繋ぐような歩いて楽しいウォーカブルな街づくりの一端を担った商業計画を行います。

## 4 参考図面イメージ



参考  
バスケットコート  
1面 ⇒ 420㎡



商業用途  
約800㎡  
(約400㎡ + 約400㎡)

※1フロア抜粋  
※当図面は現段階の検討状況に基づくものであり、今後変更となる可能性があります。